

# 食品産業生産性向上フォーラムin 高松 開催結果報告

2018年5月15日（火）11時よりサンポートホール高松にて、「食品産業生産性向上フォーラムin高松」を開催した。参加者総数は48名、うち食品関係者が16名であった。他、ロボットや食品機械関係19名、メディア関係は0名、その他13名であった。フォーラムの内容は下記のとおり。

## 1. 開会挨拶（日本ロボット工業会）

（一社）日本ロボット工業会より開会の挨拶を行った。以下挨拶の要旨。  
各食品の産業の生産性及び製造業の生産性向上を支援するツールをお持ちの企業に講演をいただく。また、会場後方に交流の場を設けているので、ご自由に交流いただきたい。

## 2. 生産性向上支援事業者によるプレゼンテーション

下記の支援事業者6社よりプレゼンテーションをいただいた。  
オムロン株式会社 [ロボットメカ]、CKD（株） [装置メカ]、（株）セールスフォース [コンサルティング]、広和機工（株） [ロボットシステムインテグレータ]、ニチワ電機（株） [食品製造機械]、港産業（株） [ロボットシステムインテグレータ]

## 3. 趣旨説明（農林水産省食料産業局食品製造課 五十嵐勝彦課長補佐）

日本の食品産業の競争力強化のためには、海外と比較しても低くどまっている、労働生産性の向上が鍵である。最も重要なのは人材の確保であり、現在の稼働率を維持し、高水準を目指すことが重要であるとし、生産性向上のための講演、プレゼンなど、本日のプログラム構成を説明。生産性向上の改善策は工場により異なるため、一緒に観察して課題を発見するパートナーを見つけてもらうマッチングの機会となること、本フォーラムの目的と強調。

また、今後公募開始予定である設備導入や人材育成への支援となる補助事業「食品産業イノベーション推進事業」と、「働き方改革早分かりガイドブック」の活用を併せて案内、食品産業の生産性向上について説明。

## 4. 基調講演（食品生産性向上フォーラム企画検討委員長 弘中泰雅氏）

わが国の製造業の中で食品製造業の生産性が低だけでなく、他の先進国と比べても日本の食品製造業の生産性が低いという現状をデータを用いて説明頂き、その原因として戦後の「昭和の遣唐使」への食品製造関係者の不参加及びそれに続く第三次産業革命への取り組みの遅れを指摘いただいた。生産性をきちんと数値で認識する企業は非常に少ないが、生産性の向上には、まず経営者の意識改革が重要であり、どこに問題があるか顕在化させなければ解決ができない等、その他具体的な生産性向上策についてお話いただいた。

## 5. 基調講演（一般社団法人 日本ロボット工業会 高本治明氏）

国内の人手不足は近年深刻な状況であり、特に食品産業では悲惨ともいえる状況である。そのため機械化への期待や、ロボット出荷額も伸びており注目度も高い。先進技術、AI技術の発展により、導入が可能になった食品産業でのロボットの使われ方の具体的な説明と、あるいは導入しても生産性の低下を招く場合があるケースなど、ロボットとはどのようなものかを紹介しつつ、導入時のポイントやメリット、リスクについて説明いただいた。

## 6. 先進事例紹介（ばいこう堂株式会社代表取締役社長 黒川昌彦氏）

香川県の特産品である国産高級砂糖「和三盆糖」及び和三盆糖を原料とする干菓子を製造している会社。弘中氏のコンサルティングを受けて行った改善内容を紹介いただいた。座り作業から立ち作業への変更、コンベアの導入、作業データの収集など。改善活動はすぐに成果が出せるものではなく、辛抱強く継続することが大事であり、経営者の覚悟が必要であることをお話いただいた。

## 7. 先進事例紹介（株式会社バイナス取締役営業部長 下間篤氏）

愛知県にあるロボットアプリケーションの製造販売を行っている会社。工業高校向けにFA教育事業を実施、教育教材装置の製造販売も行う。分野は問わず食品関連にも取り組んでいる。これまで開発してきた食品関連のロボット関連9事例を動画により、解りやすく紹介いただいた。特に、傷つきやすい食品をエアを利用し非接触で移送するハンドや、触覚センサを用い対象物を繊細に掴む等、食品ならではの高度な技術を紹介いただいた。

## 8. 生産性向上支援事業者によるプレゼンテーション

下記の支援事業者10社よりプレゼンテーションをいただいた。  
オムロン（株） [ロボットメカ]、（株）ブレインパッド [AI]、（株）エムジェイ・エムジー、（株）セールスフォース [以上、コンサルティング]、CKD（株） [装置メカ]、（株）オフィスエフエイ・コム、広和機工（株）、（株）スズキ麺工、（株）アールティ、港産業（株） [以上、ロボットシステムインテグレータ]

## 9. 交流会

後半プレゼンテーションでは、隣室に交流会場を設置、同時に実施。講演者やプレゼン事業者と交流を行った。



弘中泰雅氏基調講演



フォーラム風景